

平成20年度の学校づくり

1 教育目標

- 地域に学び地域に発信する教育活動を合い言葉に -

「豊かな心を持ち、よく学び、正しく行うことのできる児童を育成する」

【めざす子ども像】

考える子

やさしい子

元気な子

【教師像】

子どもと共に学び、共に伸びる教師

研修に努め、教育実践に情熱と創意のある教師

地域や保護者に信頼される教師

2 研究主題

自分の思いや考えを豊かに表現する児童の育成

3 本年度の特色ある教育活動

確かな学力の定着のために 「基礎・基本の定着と児童自らが考えて取り組む学習」

表す力を育てる授業研究

- <国語科> 「読み」、自分の考えを「表す」単元学習の展開
- <算数科> 数学的に解釈する力や表現力を高める学習指導の実践
- <総合的な学習の時間> 教科との関連を図った論理的思考力の育成

地域とかがわり、地域に働きかける夢・未来学習

- 地域学習を核にした全体計画とつきたい力の系統性の確立
- 価値ある体験活動の充実
- ・低学年 幼・保、お年寄りとの交流
 - ・中学年 お年寄り、福祉施設・関係者との交流
 - ・高学年 統合校との交流、中・高・文化施設

国語力を支える日常活動・学習の充実

- 言語感覚を磨き、豊かな感性を培う「表現タイム」(詩の音読・朗読会、朗読教材の作成)
- 語彙力を育成する「言葉スキル」の実践(言葉遊び、視写、短作文づくり)
- 言語を豊かにする学習環境の整備(言葉遊び道具の開発、辞書の活用、作品の掲示)

個に応じた指導の充実のために

- 適切な教育的支援
- 少人数指導の充実
- パワーアップ学習
- ・特別支援教育の充実
 - ・習熟度別指導
 - ・発展的な学習
 - ・基礎基本の定着

人とかがわる力を育むために

「きょうだいっ子活動」

- 学年の役割とリーダーの育成
- ・各学年の役割を明確にした活動
 - ・きょうだいっ子リーダー会(5年生)の組織
- きょうだいっ子ノートを活用した自己理解や他者理解、家庭との連携
- ・友達のよさや自らの成長の振り返り
- 異学年活動のよさを生かした活動の工夫
- ・集団で活動する楽しさを味わう遊びを中心とした活動
 - ・集団の中で協力し合う必要性のある活動
 - ・互いのよさやがんばりを認め合う活動
- 全教職員による児童の多様な理解と支援
- ・社会性を育てる視点での多面的・肯定的支援

豊かな心を育むために

「音楽活動」「栽培活動」「ボランティア活動」

- 感性を揺さぶる音楽活動
- ・児童みんなで創る「歌の集い」
 - ・豊かな音楽力を育てる「校内音楽会」
- 花いっぱい栽培活動
- ・一人一鉢(プランター)栽培
 - ・児童が主体的にかかわる「みどりの時間」
 - ・家族や地域の方へのプレゼント活動
- みんなで学校を創るボランティア活動
- ・児童のアイデアで創る生き生き活動
 - ・できる時にできることに取り組む活動
 - ・保護者も参加する栽培ボランティア活動
 - ・アルミ缶回収と全校マーケットによる車椅子などの贈呈活動

4 二小っ子教育プラン

学校課題の解決 魅力ある学校づくり

学力向上プラン

感性をゆさぶる活動プラン

よさを認める児童理解プラン

地域の教育力向上プラン

豊かな実践力を培う活動プラン

心と体の健康プラン

教員の資質向上プラン